

令和7年度 桃陽総合支援学校 前期 学校評価アンケート

確かな 学力	健や かな身 体	豊かな 心			教職員					保護者					児童生徒					病院等関係者									
						よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来て いない		よく出来 ている	大体出来 ている	あまり出来 ていない	出来て いない		わからない	そう思う	大体そう 思う	あまり思 わない		思わない	よく出 来てい る	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	出来て いない	わから ない			
			学習 につ いて	①	児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	4.0%	88.0%	4.0%	4.0%	②	子どもは、学習内容を理解し、基礎的な学力をつけている	42.0%	37.0%	16.0%	5.0%	0.0%	②	勉強はよくわかる	27.0%	50.0%	18.0%	5.0%	③	導入されたICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	19.0%	51.0%	1.0%	0.0%	26.0%
				③	子どもがICT機器を利用できるように指導する	19.0%	73.0%	8.0%	0.0%	⑤	子どもは、書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集している	48.0%	26.0%	21.0%	5.0%	0.0%	⑤	私は、本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	50.0%	27.0%	18.0%	5.0%							
				④	自主学習が習慣づく指導を行う	4.0%	50.0%	46.0%	0.0%	⑥	子どもは、自主学習の習慣を身につけている	16.0%	32.0%	37.0%	15.0%	0.0%													
				⑪	わかりやすい授業づくりを工夫する（ICTの有効活用を含む）	15.0%	81.0%	4.0%	0.0%	⑫	学校がわかりやすい授業を工夫している	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%	⑫	GIGA端末や電子黒板を使って学習することでよくわかる	36.0%	50.0%	5.0%	9.0%							
																	⑬	先生は、私の質問にいていねいに答えてくれる	52.0%	38.0%	5.0%	5.0%							
			生活 につ いて							①	子どもは、楽しく学校（リモート学習を含む）に通っている	53.0%	42.0%	5.0%	0.0%	0.0%	①	学校生活は楽しい	41.0%	41.0%	13.0%	5.0%	①	児童生徒は、楽しく学校生活を送っている	29.0%	59.0%	3.0%	0.0%	7.0%
				②	子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	11.0%	74.0%	11.0%	4.0%	④	子どもは、相手に伝わるように話している	26.0%	58.0%	16.0%	0.0%	0.0%	④	私は、思ったことや考えたことを話している	23.0%	67.0%	5.0%	5.0%							
				⑤	子どもがすすんで挨拶できるように指導する	15.0%	55.0%	30.0%	0.0%	⑦	子どもは、あいさつをしている	32.0%	42.0%	26.0%	0.0%	0.0%	⑥	私は、自分からすすんであいさつしている	15.0%	38.0%	33.0%	14.0%	④	来校したとき、児童生徒は挨拶する	9.0%	37.0%	11.0%	7.0%	34.0%
				⑥	子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	11.0%	59.0%	30.0%	0.0%	⑧	子どもは、場に応じた言葉づかいをしている	16.0%	47.0%	21.0%	11.0%	0.0%	⑦	私は、場面に応じた言葉づかいをしている	27.0%	41.0%	23.0%	9.0%							
				⑨	子どもが協力し合って取り組めるような活動を計画立案する	15.0%	74.0%	11.0%	0.0%	⑩	子どもは、協力し合って、学校生活をおくっている	27.0%	42.0%	21.0%	5.0%	5.0%	⑨	私は、相手の人の気持ちを考えて行動している	41.0%	59.0%	0.0%	0.0%							
				⑧	行事のねらいを明確にし、子どもにとって意義のあるものにする	26.0%	70.0%	4.0%	0.0%	⑪	学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	58.0%	32.0%	5.0%	0.0%	5.0%	⑩	私は、友だちと一緒に活動すると楽しい（TV会議などの活動も含む）	55.0%	36.0%	9.0%	0.0%	②	学校行事において、児童生徒は生き生きした活動の様子が見られる	36.0%	41.0%	6.0%	0.0%	14.0%
				⑦	社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	14.0%	75.0%	11.0%	0.0%	⑨	子どもは、社会のルールを守り、生活のマナーを身につけている	26.0%	53.0%	21.0%	0.0%	0.0%	⑧	私は、学校の決まりや約束を守っている	50.0%	27.0%	9.0%	14.0%	⑤	児童生徒は、社会のルールを守り、生活のマナーを身につけている	7.0%	54.0%	19.0%	1.0%	17.0%
				⑬	子どもが自分の健康管理に気を配るように指導する	28.0%	68.0%	4.0%	0.0%	⑭	子どもは、自分の身体のことを気を付けて活動している	48.0%	42.0%	5.0%	5.0%	0.0%	⑮	私は、病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	37.0%	45.0%	9.0%	9.0%							
			自己理解・ キャリア 発達に 関するこ と	⑩	子どもの良いところを見つけほめる	52.0%	41.0%	7.0%	0.0%								⑪	私は、自分自身のことを好きである	18.0%	41.0%	27.0%	14.0%							
				⑫	子どもの相談に適切に応じ、内容を共有している	46.0%	50.0%	4.0%	0.0%	⑬	子どもは、家族や先生に自分の思いを伝えている	27.0%	63.0%	5.0%	5.0%	0.0%	⑭	私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がある	52.0%	38.0%	5.0%	5.0%	⑥	教職員に連絡や相談がしやすい	16.0%	61.0%	13.0%	4.0%	6.0%
				⑭	子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす	19.0%	62.0%	15.0%	4.0%	⑮	学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明している/学校が自立活動についてわかりやすく説明している	58.0%	37.0%	5.0%	0.0%	0.0%	⑯	私は、学校生活や行事に自分なりの目標をもって参加している	28.0%	45.0%	0.0%	27.0%							
				⑮	個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	8.0%	77.0%	11.0%	4.0%	⑯	個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている/子どもにあった自立活動の短期目標が設定されている	63.0%	32.0%	5.0%	0.0%	0.0%													
			教育環境や 地域との 連携につ いて																			⑦	桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	6.0%	13.0%	17.0%	41.0%	23.0%	
				⑮	教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	30.0%	33.0%	19.0%	18.0%	⑰	学校だよりやホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	68.0%	27.0%	5.0%	0.0%	0.0%							⑧	学校だよりやホームページを見ると、学校の様子がよくわかる	16.0%	31.0%	9.0%	7.0%	37.0%
				⑰	学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	32.0%	48.0%	10.0%	10.0%	⑱	学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をしている	79.0%	21.0%	0.0%	0.0%	0.0%													
				⑱	保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	28.0%	66.0%	6.0%	0.0%	⑲	学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てている	74.0%	21.0%	5.0%	0.0%	0.0%							⑨	学校・家庭・病院・地域が連携して学校づくりをしている	11.0%	59.0%	10.0%	0.0%	20.0%
				⑲	近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	14.0%	41.0%	38.0%	7.0%																				
				⑳	児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	46.0%	54.0%	0.0%	0.0%																				
				㉑	児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	36.0%	61.0%	3.0%	0.0%																				
全体を通して、概ね肯定的な回答の割合が高い。ただ、④「自主学習が習慣づく指導を行う」の項目に関しては否定的な回答の割合が高くなっている。児童生徒の自主学習の定着というのは本校の課題である。その課題克服の取組として、今年度から本校においてMOMOタイムという自分自身の苦手な学習や学び直し、または発展的な学習を行う時間を設定した。この取組が児童生徒たちの自主学習の定着に繋がってほしいと考えている。						全体を通して、概ね肯定的な回答の割合が高い。当校は、一人一人の児童生徒に個別の包括支援プランを作成して、その内容を児童生徒・保護者に共有をして、日々の学校生活を送っている。今年度、これらの項目⑯⑰の肯定的回答の数値が昨年度の前期と比べて高くなっている。これは常日頃、担任を中心に保護者と密な連絡を取り、よりよい関係を築いていることに繋がっていると考えている。学校行事全般を通して、学校側は子どもたちの成長を図っている。項目⑪の数値から見ると保護者の方もそのことを理解していただいていることがわかる回答となったと考える。						全体を通して概ね肯定的な割合が高い。当校は入院生活を過ごしながら通うという学校である。その特質上、児童生徒たちは様々な悩みなどを抱えて学校生活や入院生活を過ごしていると思われる。その中で項目⑭「私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がある」の肯定的な回答が高くなっている。このことは、子どもの支えに誰かしらがなっているということがわかる回答となっていると考える。課題点としては、項目⑪「私は、自分自身のことを好きである」と考える。当校の児童生徒たちは自己肯定感が低い子たちが多い。その気持ちを育て上げることが自分自身のことを好きになることに繋がっていくと考えている。						学校・家庭・病院・地域の連携について、肯定的な評価として一定数の割合は出ている。しかし、学校・病院の連携が課題であるという意見もあがっている。そのためにも、定期的に行われているカンファレンスを中心に情報の共有に努め、お互いが連絡や相談ができるような関係作りをより深く築いていく必要があると考える。											

確かな学力の育成： 「学習について」の項目を見ていると、教職員、保護者、児童生徒の割合が比較的に似通って、ICT機器を用いることで子どもたちが「わかる授業」をして展開している。よりわかる授業を展開することで子どもたちの自主学習の定着を図るようにしていきたい。	豊かな心の育成： 本校・分教室とも心のケアを大事にしている。日々、子どもの様子を見て、子どもたちに寄り添うことで、関係を築いている。学部・分教室といったチームで子どもたちを見るように心掛けており、一人一人の子どもたちを多面から見るようにすることによって子どもたちの豊かな心の育成に繋がっている。	健やかな身体の育成： 日々、家庭・病院と連携を図りながら子どもたちの心身の健康の促進に努めている。子どもたちは入院生活の中で様々なストレスを抱えながら日々を過ごしている。そのストレスを少しでも軽減できるように、教職員は一人一人の子どもたちと寄り添っている。子どもたちのちょっとした発信を見逃さないように教職員はアンテナを張るように心掛けている。	独自の取組： 常に病院や県警機関などと連携を図り、一人一人の子どもたちにとってよりよい教育環境を醸成するように心がけている。また、病院等から専門的なアドバイスをいただける機会も多い。ドクターによる研修会を実施していただいており、教職員の専門性の向上も図っている。
--	--	---	--